

特集

創造的自己改革の 取り組み



今月の表紙

早春が旬の山菜で、当JAの特産品のひとつである「うるい」。遊佐畑作部会・鳥海山菜専門部長の荒木崇さん（遊佐町小野曾）は、約80アールの圃場でうるいを栽培しています。「親から引き継ぎ、今年で23年目。温度管理と適期収穫が重要で、品質向上のために毎年試行錯誤している」とのこと。今後の目標は「とにかく“やり続ける”。近年増加傾向にある獣害への対策を講じながら、これからもおいしいうるいを栽培し続けたい」と力強く語ってくれました。

これからの日本人にとって『よい食』とは何かを、みんなと一緒に考えて、行動していく運動です。



耕そう、大地と地域の未来。

合格祈願米で受験生を応援！

01

合格祈願米贈呈式

高校受験を控えた管内の受験生を応援しようと、当JAとJA庄内みどり農政対策推進協議会は酒田市と遊佐町の中学3年生と教職員計942人に「合格祈願米」を贈呈しました。

1月7日、田村久義組合長は酒田市役所を訪れ、酒田市教育委員会の赤坂宣紀教育長に手渡しました。田村組合長は「高校受験は人生の第一関門。お米を食べて健康な体で受験に臨み、存分に力を発揮してほしい」と述べました。

また、8日には菅原寛志専務が遊佐中学校を訪れ、3年生代表の小野寺悠真さんと後藤瞳月さんに手渡しました。代表の2人はそれぞれ「学問の神様に恥じないような結果を出したい」「お米を食べて、日々重ねてきた勉強の成果を発揮したい」と意気込みを述べました。

同取り組みは、2019年から行われ、今年で7回目。合格祈願米は当JA産の特別栽培米「つや姫」300㍑を真空包装し、昨年12月24日に学問の神様、菅原道真を祀る鶴岡天満宮の宮司より祈祷を受けたもので、各校を通じて生徒に届けられました。



▲左から後藤さん、菅原専務、小野寺さん

▶田村組合長(左)から赤坂教育長(右)へ贈呈

県境を越えた連携 災害時の協力が契機に

02

秋田県の2JAと包括連携協定を締結



▲左からJA秋田なまはげ佐藤広美組合長、JA秋田しんせい佐藤茂良組合長、田村組合長

12月19日、当JAはJA秋田なまはげ、JA秋田しんせいと包括連携協定を締結しました。連携事項として「農業生産の拡大・生産物の品質向上に関すること」「地域農業の応援者の拡大・地域農業の理解促進に関すること」など全11項目が定められ、相互協力のもと、農業や地域、JAの発展・持続性向上の実現を図ることを目的としています。

ここ数年の異常気象に伴う災害によって3JAいずれも大きな被害を受けており、一昨年7月の記録的豪雨災害の際、復旧に向けた情報交換を行う中で協力関係が構築されたことが締結の契機となりました。同協定では「災害の防止・災害時の対応・支援に関すること」も連携事項のひとつとして定められています。

当JAの田村久義組合長は「地域の農業や生活を守っていくことがJAの責務。環境や経済規模など共通点の多い3JA同士が切磋琢磨し、また助け合いながら地域農業のさらなる振興を図りたい」と述べました。

うるい、たらの芽など出荷規格確認

03

庄内促成山菜生産者協議会目ぞろえ会

1月21日、庄内JAビルで庄内促成山菜生産者協議会目ぞろえ会が行われました。生産者、市場関係者など約30人が参加し、令和7年産促成山菜の生育状況や販売状況、出荷規格を確認しました。

令和7年産促成山菜の生育状況は概ね良好なもの、出荷量については異常気象の影響や高齢化による生産者の減少などにより、例年に比べやや減少の見込みです。東京シティ青果(株)、野菜第4部の新川洋幸部長は「まずは2月～3月の需要期に向け、収量および出荷量が少しでも増加することを願っている」と話しました。また、庄内促成山菜生産者協議会の小野寺太会長は「安定供給が売り上げにつながる。栽培面だけでなく、販売面においても出荷の際に異物混入等のないよう吟味・徹底してもらいたい」と注意喚起しました。

うるいについて、令和7年度は13人の生産者が約8・5㍑で栽培し、出荷量は10万2650パック(1パック100㍑)を想定しています。



▲用意されたサンプルでラッピング方法などを確認しました

地域農業の山積する課題解決へ 支援要請 04

酒田市・遊佐町に要請書を提出

生産者の高齢化や担い手不足、生産資材価格の高止まり、気候変動に伴う自然災害や高温障害など、当JA管内においても「持続可能な農業」の実現を妨げる様々な課題に直面しています。

当JAの田村久義組合長は、酒田市・遊佐町に対し、課題解決に向けた県および国による支援への働きかけを要請すべく、12月11日にJAそでうらの五十嵐良弥組合長らとともに酒田市役所へ、同16日には当JA役員らと遊佐町役場へ赴き、「農業構造転換集中対策の具体化等に関する要請」として要請書を提出しました。

要請書には主に6項目を明記し、県・国に対しては「①農業関連予算総額の拡大と人件費・物価高騰をふまえた対応」「②農業構造転換集中対策の具体化等と強力な推進」「③持続可能な水田・畑作農業対策の早急な確立」「④農業・農村の持続的な発展に向けた施策の拡充」「⑤災害等に強い農業づくり対策」の5つを要請しました。

加えて市・町に対しては、熊やイノシシなどの獣害対策、庄内海岸防風防砂林の松くい虫被害対策、異常気象に対応するための土づくり特別対策事業の継続、共同利用施設の老朽化に伴う長寿命化を図る修繕等への支援など、管内における喫緊の課題に対応する「⑥地域農政課題等に関する重点事項」を単独要請しました。

田村組合長は「生産者、JAだけでは到底解決できない。令和8年度当初予算などへの要求含め、県や国に強く働きかけてほしい」と求めました。



▲矢口明子酒田市長㊟に要請書を手渡す
JAそでうら五十嵐組合長㊟と当JA田村組合長㊟



▲松永裕美遊佐町長㊟、当JA菅原寛志専務㊟、田村組合長㊟

スマート農業技術の現場導入の加速化に向けて 05

「2026米づくりフォーラムin庄内」開催

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動庄内地域本部などは1月9日、酒田市公益研修センター公益ホールにて「2026米づくりフォーラムin庄内」を開き、庄内地域の米生産者や関係機関、JA職員ら約200人が参加しました。今回のフォーラムでは、高品質・良食味米産地としての存続に向け、省力化や収量・品質の向上が期待できる「スマート農業技術」への理解醸成を図るた

め、支援制度や先進事例などを学びました。

東北農政局の吉田大作専門官は「東北地域におけるスマート農業の推進について」と題し、支援制度の具体的な内容や県内外での実際の活用事例などについて講演を行いました。「農業従事者の減少が続く中、農業の持続的な発展や食料の安定供給を確保するためにはスマート農業技術の導入の加速化と適した生産方式への転換が必要」と述べ、技術導入時の低利融資や導入後、技術運用に伴う行政手続を簡素化できる制度の活用を訴えました。また、ドローンや収量センサ付きコンバインなどを導入し米の生産を行っている(株)相川ファーム(秋田県湯沢市)の菅忠一郎代表取締役は「スマート農業技術を活用した生産性向上の取組み」と題し、講演。「経験や感覚に基づく『勘ピュータ』に頼る農業ではなく、データを活用し、頭で考える『脳業』を行うことが必要だ」とスマート農業技術の重要性を語りました。

そのほか、同本部主催の令和7年度食味コンクールの表彰式や県水稻新品種「ゆきまんてん」の試食などが行われました。



▲講演中の様子



創造的自己改革



JAは、農業・地域のために「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」「経営基盤の強化」の4つを基本目標とした、創意工夫ある取り組み＝「創造的自己改革」の実践に取り組んでいます。

今回は、当JAにおける具体的な取り組み内容について、令和7年度の実績(2025年12月末時点)を中心にご紹介します。

の取り組み

農業者の所得増大

園芸生産拡大事業

園芸生産拡大事業

令和7年度から9年度までの3カ年継続事業として、「園芸拡大支援事業」を行っています。

当JAが生産拡大を目指す施設園芸品目(ミニトマト・アスパラガス・パプリカ・シャインマスカット・メロン・花き)を対象に園芸ハウス等の設置に支援を行い、高収益型施設園芸の定着化と農家の所得増大、産地形成を図っています。

令和7年度は4人の生産者が取り組み、ハウス6棟が新設されました。

年度	品目	件数	面積(a)	棟数
7年度	ミニトマト	1	5.83	1
	アスパラガス	2	8.92	3
	シャインマスカット	1	5.67	2
合計		4	20.42	6

長ねぎ生産拡大推進事業

市場競争力の高い長ねぎの生産拡大と、みどりブランドの確立を図るため、長ねぎの主要作業(育苗・定植・土寄せ・病害虫防除・収穫)の受託事業と連結した共選出荷体制を行っています。

令和7年度は作業受託面積3.4haの実績となりました。7月の高温干ばつで生育が停滞したことにより、土寄せ作業等の管理作業の遅延となり品質低下となりました。加えて、収穫期には長雨による遅れとなりました。長ねぎ栽培においては、近年の気象変動対策が大きな課題となります。



生産コスト低減

コンバインの共同購入企画

第3弾となる、コンバイン推進販売

生産者の需要を取りまとめ一括発注を行うことで、メーカーが製造・流通を効率化でき、製造コストを削減できること、JAグループが全国の生産者に結集を呼びかけ、積み上げた必要台数を背景に入札を実施することによって、生産者の購入価格の引き下げを行っています。



低コスト農機の販売

各メーカーの低コスト農機(コンバイン・田植機)の情報提供と圃場実演会を開催してきました。

結果、今年度販売した4条刈りコンバインの約78%、田植機の約43%が上記の低コスト農機となりました。

また、10月にはJAグループ山形「秋のお買得市」を開催し、全農や各メーカーの実演機・展示機を特別価格で提供し、生産コスト低減に取り組みました。

当JA経済事業部門と(株)みどりサービスが合同で行う展示会「サマーフェア」では低コスト農機の展示・販売も行い、3日間で956人が参加しました。3月には同じく合同展示会「春一番フェア」の開催を予定しています。



JAグループがめざす姿

① 持続可能な農業の実現

消費者の信頼や実需者のニーズにこたえ、食料安全保障の確保に向けて、安全で安心な国産農畜産物を環境に配慮しつつ、安定的に供給できる持続可能な地域農業を確立し、農業者の所得増大を支える姿

② 豊かでくらしやすい地域社会の実現

総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担うとともに、様々な活動を通じて、多様な関係者と連携し、協同の力で豊かでくらしやすい地域共生社会の持続的発展に貢献している姿

③ 協同組合としての役割発揮

次世代や地域共生社会の構成員とともに、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、経営の健全性を確保し、役割を発揮している姿

農業生産の拡大

担い手支援・労働力不足対策

JA庄内みどり新規就農等支援対策事業

令和3年度から令和7年度までの5カ年事業として当JA独自の支援対策事業を行っています。

親元就農を含む新規就農者への支援、新規就農者の指導に対する支援、農業生産法人の雇用就農に対する支援の3つで就農をサポートします。令和7年度は個人9件、法人1件の申請がありました。

無料職業紹介事業

労働力確保対策の一環として開設された「JA庄内みどり無料職業紹介所」は5年目を迎え、種々の媒体を活用した求人情報の発信や求職者の募集を行い、労働力不足の農家(求人者)への紹介・あっせんを努めています。

令和7年度取扱実績(12月末時点)は求人者登録件数25件、求職者登録件数16件、マッチング成立件数15件となりました。



農業経営事業

収益性の高い果樹モデル経営として、シャインマスカットの実証展示を行い、栽培技術の確立を目指し、栽培講習会の実施と実証圃の管理運営を実施いたしました。令和7年度は農業経営6年目となり、7月の高温干ばつにより果実は小粒傾向でありましたが、実証圃8棟から副産物(収穫物)約2,100kg(前年比105%)を出荷しました。



持続可能な地域農業の発展

土づくり支援

酸性化土壌の改善を目的に、ケイ酸質入り肥料4銘柄を支援対象資材とした当JA独自の土づくり支援を令和2年秋から開始しています。

10a当たりの散布基準量(kg)に基づき、令和7年産主食用うるち米のJA出荷数量に応じて1俵(60kg)当たり300円を土づくり対策費として支払います。令和8年も引き続き実施いたしますので、お問い合わせは各営農課まで。



営農指導の強化

営農指導員に現場力

若手営農指導員の現場での指導スキル向上を目指し、令和4年から「実証田プロジェクト」を行っています。

平田地区に約30aの実証田を設け、ベテラン指導員の指導のもと田植え、除草剤散布、草刈り、作溝培土、稲刈りなどを実践しています。



経営基盤の強化

農作業実践研修

若手職員などを対象とした農作業実践研修を行いました。農作物の選果作業、米倉庫での搬入・検査作業などを体験し、JA職員としての意義や心構えを再確認しました。



地域の活性化

青年部

田植え・稲刈り指導

青年部員が管内の小学校で田植えと稲刈りの指導を行いました。

田植え 10校 児童478人
稲刈り 9校 児童405人



WEB授業

訪問授業を行えなかった小学校9校に対し、WEB会議システムなどを利用して交流しました。

タブレット越しに田んぼや農作業用機械を近くで見学するなど、WEB授業ならではの特性を活かして授業を行いました。



女性部 フードドライブ活動

酒田市、遊佐町の社会福祉協議会を通じて賞味期限が1カ月以上、未開封などの条件を満たしたお米やレトルト食品、乾麺など33種類の食材を提供しました。



福祉事業 ウォーキング倶楽部

健康で元気な高齢者を増やすことを目的とし、令和7年には7回開催、延べ416人が参加しました。

健康づくりと生きがいづくりへの関心の高さがうかがえました。



首都圏小学校で訪問授業

神奈川県、東京都の小学校16校を訪ね、庄内の稲作をベースに授業を行いました。

また、事前に送付していた稲の様子を確認し、生育についてアドバイスをしました。



庄内探訪

県内外から小学校教諭10人を庄内に招待し、ミニトマトの収穫体験やカントリーエレベーター、圃場の見学などを行いました。



JAまつり

管内各地区で開催され、抽選会や餅つき、屋台の出店などを行い多くの参加者で賑わいました。



生活関連事業



資材店舗、高齢者福祉施設、葬祭センター、自動車・燃料・ガス・マルノー山形など

JA-SS 4カ所
ガス事業利用者
8,600人

農業関連事業

営農指導、農畜産物販売、生産資材購買



販売事業取扱実績
144億円
(米穀112億円、園芸14億円、畜産18億円)

購買事業取扱実績
4.6億円(令和6年度)

ファーマーズマーケット 農産物直売所



みどりの里山居館
出荷組合員数125(個人・企業・団体)

インショップ型産直5カ所

共済事業

生命共済、建物共済、自動車共済など、「ひと・いえ・くま・農業」の総合保障



共済窓口8支店

ライフアドバイザーによる、近況確認あんしんチェック

信用事業



貯金、農業融資、住宅ローンなど農業や暮らしに関する金融

金融窓口8支店

ATM 16台

JA庄内みどりの総合事業
地域の皆さまもなただでもご利用できます



きらりかがやけ！女性部 / 女性のつどい開催



当JA女性部は12月3日、本所にて第23回「女性のつどい」を開き、部員145人が参加しました。「世界の台所から見える、私たち庄内の暮らし」と題し、観光客のみならず地元民からも愛される若葉旅館の代表取締役社長、矢野慶汰氏より講演をいただきました。

矢野氏は前職の旅行会社勤務時代に世界約150カ国を訪れ、各国の食や文化の違いなどを数多く経験。そのうえで、世界と比較した庄内平野の肥沃な大地や日本海などで育まれる豊かな食材、自然・風土の魅力についてユーモアを交えながら語り、会場は大いに盛り上がりました。

講演後、矢野氏は「庄内地方の豊かな食文化は世界に誇れることを、農業や文化継承などさまざまな面から地域を支えてくれている女性部の皆さんに直接話すことができ良かった」と話し、阿波由紀女性部部長は「なかなか聞くことが出来ない『世界の食』について深く知ることができた。庄内地方で収穫される農畜産物や海産物の品質の高さを再認識できたので、今後も女性部として『庄内の食』を広められるような活動を行っていききたい」と話しました。

同日、部員による野菜や農産物加工品の販売なども行われ、参加者は買い物を楽しみながら部員同士の交流を深めました。



▲講演中の様子



▲矢野氏へ記念品を渡す阿波部長



▲野菜や農産物加工品の販売の様子



「モルック」で冬の寒さを吹き飛ばそう！

1月14日、当JA女性部酒田みなみ支部(酒田地区)は酒田市正法会館にてモルック大会を開催しました。モルックとは、木の棒(モルック)を投げて数字が書かれた木のピン(スキットル)を合計50点ぴったりになるように狙って倒すフィンランド発祥のスポーツ。ルールが簡単で、年齢や性別問わず楽しむことができるため、地域のイベントやレクリエーションなどでも広く取り入れられています。

今回は部員25人が参加し、6チームに分かれて試合を行いました。チーム内で作戦会議をしたり、声援を送り合ったりして親睦を深めました。

酒田みなみ支部の阿波由紀支部長は「笑い声が絶えず、楽しく体を動かすことができた。今後も、女性部がより活発になるような活動をしていきたい」と話しました。



▲モルックを投げる女性部員ら



▲スキットル

あなたも女性部活動に参加してみませんか？

当JA女性部では部員を大募集中です！現在、女性部は管内7支部・全体では523人在籍しています。本部活動のほか、支部ごとにさまざまな活動を行っており、女性同士の仲間づくりと社会貢献を目的に楽しく活動しています。

《主な活動》

- ・フードドライブ活動
(家庭で余っている食品を集めて地域のフードバンクなどに寄付する活動)
- ・視察研修旅行
(※令和7年度は宮城県のJA新みやぎファーマーズマーケットの視察や、演歌コンサートに参加しました！)
- ・女性部まつり
(部員が育てた野菜やハンドメイド作品のほか、JA関連商品を屋台形式で販売！)

《年会費》700円(令和7年現在)

《お問合せ》総務課 ☎0234-26-5500



▲令和7年度研修旅行にて

宮農掲示板

宮農のしおり

適正納税に向けた取り組みについて 酒田飽海農業青色申告協議会と連携した 各種講習会の開催

当農協では酒田飽海農業青色申告協議会と連携し、各種講習会を定期的に開催しております。税理士を講師に招き、記帳・決算・確定申告のポイントの説明や税制改正に係る情報提供を行っており、青申会会員や組合員が適正な申告が行えるように内容を工夫しながら指導事業を展開しております。

特に令和7年申告においては、米価高騰により農業収入が増大しました。課税売上高が1,000万円を超えるなど、2年後に課税事業者となり消費税申告をする義務が発生します。そのため、来年度は新たに消費税申告講習会の開催を予定しております。

農業経営においては、自身の経営状況の把握も非常に重要です。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

【講習会年間スケジュール(予定)】

- 6月 記帳講習会
- 12月 決算講習会、消費税申告講習会
- 1月 確定申告講習会、e・Tax講習会



各地区青申会では、会員個々の経営能力の向上のための指導や申告のサポートを行っております！青色申告に挑戦したい方、興味のある方は地区役員または各支店までお問い合わせください。

【各地区青申会では新規会員を募集しております！】

園芸だより

春の準備をしましょう

立春が過ぎ、春の気配がもうすぐ感じられる頃になりました。播種や定植の前に、畑の準備をすることが重要になります。せっかくなので、植え込みに必要な肥料など、お悩みはありませんか。

●土壌分析で作物に合った計画を

作物の多くはpH6.0～6.5を好みます。全国の畑作土壌の約3分の1はそれを下回っています。一般的に土壌pHが低すぎると窒素やリン酸などの肥料成分が溶けにくくなり、作物の生育が悪くなります。作物ごとに最適pHは異なります。

施設栽培では雨が遮られていることから、地表から下層への水の移動はほとんどありません。塩類の蓄積がまれに見受けられます。毎年、堆肥を投入して施設栽培している場合は、標準的濃度を越えている可能性があります。そうすると作物の根いたみや養分、水分の吸収阻害が起り、生育が妨げられます。

土壌分析によって投入不要な資材を発見し、生産費削減につながる

がることもあります。

土壌分析は一回すれば終わりではなく、健康診断と同じで毎年継続して行い状況を把握することをおすすめします。



酒田南園芸センター
藤谷 尊

●連作障害対策をしましょう

連作障害は毎年同じ場所、同じ野菜、または同じ科に属する野菜を続けて栽培することで、生育不良や収穫量の減少、病害虫の発生が増える現象です。

連作障害の対策は三つあり、①輪作で対応しましょう。計画的に植える場所を変える方法です。畑をいくつかのゾーンに分け、毎年異なる科の野菜を植えることで対策できます。

②土壌改良で対応しましょう。土壌の微生物バランスを整えることが重要です。米ぬかを使った太陽熱消毒方法もあります。

③その他、抵抗性品種や接木苗を導入することで対策も可能です。

詳しい内容につきましては、最寄りの園芸センターまでご相談ください。

ガスをご利用の皆さまへ

快適&安全にお使いいただくための **6** つのポイント
日ごろから注意して、快適&安全にガスを使いましょう。

POINT 01 ガス器具を使うときは必ず換気していますか？ チェック



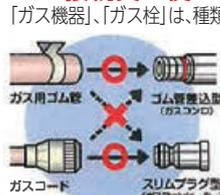
換気が不十分な状態でガスが燃焼すると、不完全燃焼となり一酸化炭素中毒になる恐れがあります。換気扇を回すか、窓を開けるなど必ず換気をしましょう。

POINT 02 ガス警報器を取り付けていますか？ チェック



万が一のガス漏れや、不完全燃焼による一酸化炭素が発生した場合に、ランプと音声でお知らせします。火災はもちろん、「3つのあんしん」を24時間守ります。

POINT 03 形状に合った適切な接続具を使っていますか？ チェック



「ガス機器」「ガス栓」は、種類によって接続する口の形状やサイズが異なります。正しく接続しないとガス漏れ、火災などの原因に！ガス機器および接続具の取扱説明書を読んで、接続の形状やサイズに合ったもので接続しましょう。

POINT 04 使用していないガス栓の取り扱いに注意していますか？ チェック



ガス機器が接続されていないガス栓を誤って開けると、ガスが漏れて危険です。接続されていないガス栓は、ガス栓を閉めてガス栓キャップをかぶせておいてください。また、古いガス栓をお使いの場合は、より安全型のヒューズガス栓への交換をお勧めします。

POINT 05 ガス機器のお掃除・お手入れをしていますか？ チェック



コンロのバーナー部分は定期的に掃除をしましょう。コンロのバーナー部分は煮こぼれしたものが詰まると正常な燃焼を妨げ、思わぬ事故を起こす原因になることがあります。

POINT 06 古いガス機器を安全型のガス機器へ交換されていますか？ チェック



ガス機器も古くなると部品が劣化し火災や事故のおそれがあります。古いガス機器は安全装置の付いた「安全型ガス機器」に早めに交換しましょう。



「ガス臭い」「警報器が鳴った」などの異常を感じたら、すぐにガス事業者へ連絡を！

連絡先

株式会社みどりサービス ガス課
酒田市曙町一丁目1番地
TEL0234-26-5564

読者からの おたより

冬休み、夏休み、孫達(小5と小3)だけで飛行機でやってくる。もう～こちらがマゴマゴしてしまうよ～(鳥海・阿部さん)
お孫さん達だけで飛行機とはすごいですね！大人達は大変かもしれませんが、おいしいご飯をたくさん食べて、元気いっぱい遊んで冬休みを満喫してくれたら嬉しいですね！(小松)

各家庭の季節の行事は何をしてるか知りたいです。我が家ではどんどん季節の行事そのものがやらなくなりました。このまま廃れていいものかとても気になってます。

(鶴岡市・五戸さん)

2月と言えば節分。鬼のお面をかぶりながら「鬼は外」をする変な子供でした。売れ残った恵方巻のフードロス問題からも現代人の「季節行事離れ」を感じます。農業との結びつきが強い行事も多いため、何とか伝承していきたいものです。(本間)

豪華な表紙で、お正月らしさ満載でした。お二人共にとっても綺麗です。(東京都・カノンママさん)
女性職員の晴れ着姿とても可愛くて、癒されました。(西荒瀬・後藤さん)

着用した振袖は、たくさんの候補の中から表紙モデルのお二人が迷いながら決めたものなので、よく似合っていてとても素敵でしたね！来年も楽しみにしていただけたいです！(小松)

資産運用セミナー開催！



当JA信用部は1月23日と24日、本所にてセゾン投信(株)の惣台太朗氏を講師に招き、資産運用セミナーを開催しました。「『人生100年時代に備えるお金の育て方』～資産運用は難しくない。未来を守る第一歩を一緒に～」をテーマに、誰もが迎える「老後」をより良く過ごすために資産運用の基本や必要性、投資行動の重要性などについて丁寧に解説いただきました。

資産運用にご興味のある方は、
金融推進課 ☎ 26-5545 まで
お気軽にお問合せください。



クロスワードパズル

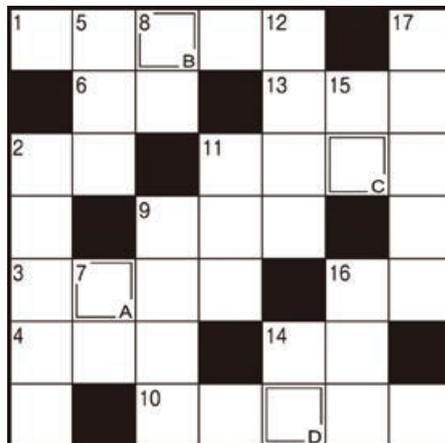
二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

【タテのカギ】

- ② 東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーの街
- ⑤ はたきで払うもの
- ⑦ い草などで編んだ敷物
- ⑧ 天井や空がある方向
- ⑨ 長さの単位のひとつ。記号はft
- ⑩ 眠くなると下がってきます
- ⑫ 外湯めぐりで知られる兵庫県北部の温泉地
- ⑭ 鬼は外、——は内
- ⑮ 日本刀の手で握る部分
- ⑯ すべては忘却の——だ
- ⑰ チョコレートケーキの——をスマホで調べた

【ヨコのカギ】

- ① 節分にまるかぶりします
- ② 働き者のイメージがある昆虫
- ③ 羽根つきに使う道具
- ④ 保育園の——に手編みの帽子を出品した
- ⑥ 張り上げたりひそめたり
- ⑨ 強い風に雪が舞います
- ⑩ 作業機をけん引してさまざまな農作業をこなします
- ⑪ 金太郎が担いでいるもの
- ⑬ ドアをコン、コン
- ⑭ 魚へんに付と書く魚
- ⑯ 寒いとこりやすくなる人もいます



サンガニチ
（1月号答え）



【当選者発表】

- A・Kさん(酒田)
- S・Tさん(本楯)
- I・Tさん(北平田)
- 鳥海山ラブさん(藤岡)
- ノースアイファーマーさん(高瀬)
- S・Kさん(平田中央) G・Wさん(八幡)
- S・Mさん(松山) K・Hさん(愛知県)
- K・Mさん(京都府)

ヒント!

サクラサク

正解者の中から抽選で5名様に「米クランチ」をプレゼント!



【締切】2月20日(金)当日消印有効

【応募方法】下記5問をご回答ください

- ① 答え ② 今月号で良かった記事 ③ 今後あったらいいと思う記事
- ④ 来月号の「読者からのおたより」掲載用にひとつ
- ※季節の話題、日常の話題、今月号の話題などなんでもOK!
- ⑤ お届け先情報(郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号)

【あて先】〒998-8510 JA庄内みどり 広報クイズ係 行

※e-mailでの応募は

kouhou@ja.midorinet.or.jp まで



お送りいただいた個人情報は当誌の編集以外には使用しません

家族で楽しむ おいしい一皿

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子



アレンジ

- 子どもはポン酢や酢じょうゆのたれ、大人はポン酢にコチュジャンと油を適宜加えたたれをかける
- 生地に豚肉や桜エビなどを入れて主菜にも

外はカリッと、中はもちもち ニラチヂミ(韓国風お好み焼き)

材料(1枚・2人分)

- ニラ…1束
- ニンジン…1/4本
- タマネギ…1/4個
- 卵…1個
- 片栗粉…大さじ3
- 薄力粉…大さじ2
- 溶けるチーズ…30g
- 塩…小さじ1/2
- 砂糖…小さじ1/2
- 水…60ml
- ごま油…大さじ1+大さじ1

ポイント!

ニラは冷え性や疲れやすい方に必要な栄養素が多く含まれています。揚げ焼きのように油を少し多めに入れるとおいしく作れます。

作り方

- ① 卵をボウルに割り入れる。ニラは長さ3cm、ニンジンは細切り、タマネギは薄くスライスし、ごま油以外の材料を入れて混ぜる。
- ② フライパンにごま油(大さじ1)を引いて熱し、①の生地を入れてスプーンの背などで薄く延ばす。片面がカリッとしてきたらひっくり返し、全体をギュッと押す。ごま油(大さじ1)をぐるっと回しかけて焼き、再度ひっくり返しカリッと仕上げる。両面においしいような焦げ目が付いたら出来上がり。

理事会だより

第10回定例理事会が1月29日、本所で開かれ、下記の議案が承認されました。

附議事項

1. 令和7年12月末事業実績検討
2. 理事が代表する団体への貸付
3. 令和8年産米及び飼料用米の取組み

★ インショップ販売 生産者募集! ★

～あなたの野菜を販売しませんか?～

イオン酒田南店・三川店、マックスバリュ東泉店・平田店、サンドラッグ酒田曙町店の5店舗にてインショップを展開中!

一緒に盛り上げてくださる生産者の方々を募集中です!

●お問合せ●

加工販売課 ☎26-6732



東平田福祉会に「つや姫」贈呈

東平田農業振興協議会は12月12日、地域貢献活動の一環として、社会福祉法人東平田福祉会が運営する東平田保育園と福祉施設あずまに対し「つや姫」20kgずつ、計40kgを贈呈しました。地元で育った農作物を味わってもらうことで、地産地消・地域農業振興に対する理解と郷土愛の醸成を図る目的で毎年行われています。



Information

お知らせ

春季農協座談会

日時

3月2日(月)～3月13日(金)

内容

- ①令和7年度 重点実施事項の取り組み状況と事業見通し
- ②令和8年度 事業方針(案)ならびに重点実施事項(案)
- ③各部からのお知らせ

お問合せ

企画経理課 ☎26-5515

JA経済事業・(株)みどりサービス合同展示会 春一番フェア2026

内容

春用農業機械・生産資材関連商品・自動車・JA特産品・ガス関連商品・マルノ商品など展示販売。

<酒田会場>

●日時

3月13日(金)9:00～17:00

〃 14日(土)9:00～16:00

●場所

みどり農機センター(手蔵田)



<遊佐会場>

●日時

3月17日(火)9:00～17:00

●場所

北部農機センター特設会場

【お問合せ】農業機械課 TEL23-1818

山居館加工品フェア

日時

2月28日(土)・3月1日(日) 9:00～17:00

内容

漬物やジャムなどの加工品が10%オフ!!

さらに、3月1日(日)午前中には甘酒の振る舞いを行います。

会場・お問合せ

みどりの里「山居館」 ☎☎26-6732

募集

広報誌「みどり」読者モニターを募集します

内容

広報誌・ホームページ・コミュニティ情報誌へのアンケート回答および意見文の作成(年4回)。任期は1カ年、年度末に薄謝(特産品)を進呈します。

応募資格

20歳以上の方

応募方法

①住所②氏名③年齢④職業⑤電話番号⑥Eメールアドレス⑦応募動機①～⑦を明記し郵便はがき、Eメール、ホームページのお問合せフォームからご応募ください。個人情報当JAで適切に取り扱い、目的以外には使用しません。

応募期間

4月1日(水)まで

お問合せ

企画経理課 ☎26-5515

介護が必要になったら

JA庄内みどり福祉センターへご相談ください！
介護支援専門員(ケアマネジャー)が対応します！

介護相談窓口 ☎0234-24-5411

JA庄内みどりではこんな介護保険サービスが受けられます！

訪問介護（ヘルパー）サービス

ホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活を支援します。

- ・入浴・排泄・食事の介助
- ・調理・洗濯・掃除の家事・買い物の付き添い 等々



最新のシステム導入



通所介護（デイサービス）

日中デイサービス施設に通い、食事や入浴、心身維持の為の機能訓練などを行います。

大好評
選べる
誕生日
プレゼント



福祉用具貸与・販売、住宅改修

日常生活に必要な福祉用具のレンタル・販売をします。また、住み慣れたご自宅で安心した生活がおくれるように、住宅改修も行っています。



歩行車(折りたたみ可)
250円~/月



免許不要シニアカー
1,300円~/月



住宅改修施工前



住宅改修施工後

住宅改修

介護保険を利用して
上限20万円まで
1割負担(2万円)で
設置できます
※収入により
利用者負担は
1割から3割

遊佐地区の方は宿泊ができる多機能ハウス結いをご利用いただけます！

多機能ハウス結い ☎0234-43-1587